

柔道競技要項

- 1 主 管 田川地区中学校体育連盟 鶴岡地区柔道連盟
- 2 日 程 7月20日(金) 監督会議 15:00~ 鶴岡市朝陽武道館2F会議室
 21日(土) 開 場 8:00
 団体戦計量 8:10~ 9:00
 審判会議 8:20~ 8:50
 開会式 9:00~
 競技開始 9:30~ 男女団体戦
 団体表彰式 14:30~14:45
 個人戦非公式計量 14:00~15:00
 個人戦公式計量 15:00~16:00
 22日(日) 開 場 8:00
 審判打合せ 8:20~ 8:50
 柔道衣点検 9:00~ 9:15
 競技開始 9:30~ 男女個人戦
 閉会式 15:00~

3 会 場 鶴岡市朝陽武道館
 鶴岡市小真木原町2-1 TEL 0235-29-1346

4 参加資格 大会基本要項に準じ、本連盟に加盟している中学校の生徒で、各単位中体連の予選または推薦を得たチーム及び個人とする。推薦については、棄権が出た時の代替の場合、または予選が行えない場合に限る。(階級の変更はできない)

5 参加チーム・人数

(1) 団体戦

- ① 1チームの人数は、男子団体は監督1名、コーチ1名、選手5名、補欠3名、計10名。女子団体は、監督1名、コーチ1名、選手3名、補欠2名、計7名とする。
- ② 団体戦の選手の編成は、最も体重の多い者を大将とし、以下体重順とする。補欠を選手として繰り入れる場合も、大将以下体重順とする。
- ③ 各地区の出場枠数は以下の通りとする。

	山形	上山	東村	西村	北村	最上	米沢	東置	西置	田川	飽海	計
男子団体戦	3	1	1	1	1	2	1	2	1	2	1	16
女子団体戦	3	1	1	1	2	2	1	1	1	2	1	16

(2) 個人戦

- ① 個人試合は、男子8階級、女子8階級で行う。
 (男子) 50kg級(50kg以下)・55kg級(50kg超~55kg以下)
 60kg級(55kg超~60kg以下)・66kg級(60kg超~66kg以下)
 73kg級(66kg超~73kg以下)・81kg級(73kg超~81kg以下)
 90kg級(81kg超~90kg以下)・90kg超級
 (女子) 40kg級(40kg以下)・44kg級(40kg超~44kg以下)
 48kg級(44kg超~48kg以下)・52kg級(48kg超~52kg以下)
 57kg級(52kg超~57kg以下)・63kg級(57kg超~63kg以下)
 70kg級(63kg超~70kg以下)・70kg超級

② 各地区の出場枠数は以下の通りとする。

男子個人	山形	上山	東村	西村	北村	最上	米沢	東置	西置	田川	飽海	計
男子50kg級	3	1	1	1	1	3	1	1	1	2	1	16
男子55kg級	3	1	1	1	2	2	1	1	1	2	1	16
男子60kg級	3	1	1	1	2	2	1	1	1	2	1	16
男子66kg級	3	1	1	1	2	1	1	1	1	3	1	16
男子73kg級	3	2	1	2	1	1	1	1	1	2	1	16
男子81kg級	3	1	1	1	2	1	1	2	1	2	1	16
男子90kg級	3	1	1	2	1	1	1	2	1	2	1	16
男子90kg超級	3	1	1	2	1	1	1	1	2	2	1	16

女子個人	山形	上山	東村	西村	北村	最上	米沢	東置	西置	田川	飽海	計
女子40kg級	2	1	1	1	2	1	1	2	2	2	1	16
女子44kg級	2	1	1	1	1	2	1	3	1	2	1	16
女子48kg級	2	1	1	1	1	2	1	3	1	2	1	16
女子52kg級	3	1	1	1	1	3	1	1	1	2	1	16
女子57kg級	3	1	1	1	2	2	1	1	1	2	1	16
女子63kg級	2	1	2	1	1	2	1	1	1	3	1	16
女子70kg級	3	1	1	1	2	1	1	2	1	2	1	16
女子70kg超級	1	1	1	2	2	1	1	2	1	3	1	16

6 引率者及び監督等

- (1) 引率者・監督は、当該校の校長・教員・部活動指導員とする。ここでいう部活動指導員は学校教育法施行規則第78条の2に示されている者をいう。
- (2) コーチは、当該校の教職員、又は外部指導者とする。外部指導者は別に定める「外部指導者に関する規定」を満たしているものとする。
- (3) 本大会に出場するチーム・選手の引率者、監督、外部指導者（コーチ）、トレーナー等は、部活動の指導中における暴力・体罰・セクハラ等により任命権者又は学校設置者から懲戒処分を受けていない者であることとする。校長はこの点を確認して、大会申込書を作成する。なお、外部の指導者は校長から暴力等に対する指導措置を受けていないものとする。
- (4) (公財)全日本柔道連盟からの「試合場におけるコーチの振る舞い」を熟読し参加する。

7 競技規則

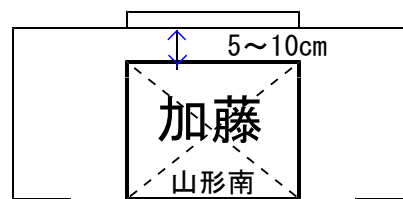
- (1) 審判は、国際柔道連盟試合審判規定（2018施行の新ルール）及び国内における「少年大会特別規定」による。
- (2) 勝敗の判定基準は、次の通りとする。
 - ① 団体戦の個々の試合においては、「技有」以上又は「僅差（『指導』の差が2）」とする。優劣の成り立ちは以下の通りとし、それに満たない場合は「引き分け」とする。

$$\boxed{\text{「一本」} = \text{「反則勝ち」} > \text{「技有」} > \text{「僅差」}}$$
 チーム間の内容が同等の場合は、任意の選手による代表戦を行う（但し、予選リーグにおいては代表戦を行わず「引き分け」とする。）代表戦の判定基準は団体戦と同様とするが、3分間の本戦で得点差が無い場合は延長戦（ゴールデンスコア）により勝敗を決する。
 - ② 個人戦は、「技有」以上又は「僅差（『指導』の差が2）」とする。スコアが同じ場合又は指導の差が1の場合は延長戦（ゴールデンスコア）を行う。
 - ③ 団体戦、個人戦ともに、延長戦は「技有」以上又は「僅差（『指導』の差が1）」とする。
- (3) 試合時間は、3分間（団体、個人とも）とし、延長戦（ゴールデンスコア）は時間無制限とする。

(4) ゼッケンの着用

柔道衣に必ずゼッケン（学校名・名字入り）を縫いつけて出場すること。

- ① 布地は白色（晒、太綾）
- ② サイズは 横30～35cm、たて25～30cm
- ③ 名字（姓）は上側2/3、学校名は下側1/3
- ④ 書体は太字ゴシック体（明朝・楷書でもよい）
男子は黒色、女子は赤色とする。



- ⑤ 縫いつけの場所は後ろ襟から5～10cm下部で、周囲と対角線を強い糸で縫いつける。

- (5) 女子は上衣の下に白色又は白に近い色の半袖で無地のTシャツ又は半袖のレオタードを着用すること。 ※Tシャツのマーキングについては、(公財)全日本柔道連盟が定める規定(平成25年4月1日より施行)に準ずる。
- (6) 計量は以下の通りとする。
 - ① 団体戦・個人戦共に公式計量は指定された時間内に1回とし、再計量は一切認めない。
 - ② 計量時の服装は、男子は下穿きのみ、女子はTシャツと下穿きのみを着用とする。(下着は認める。包帯サポーター等の着用は一切認めない。)
 - ③ 個人戦の計量では、定められた階級の体重区分にない者は失格とする。(柔道衣等の重さは含まない)
- (7) 競技の前に柔道衣点検を行う。その際は、試合時に付けるサポーター等を着用して受けること。なお、柔道衣は国際柔道連盟公認又は全日本柔道連盟認証の柔道衣(上衣・下穿き・帯)を着用すること。女子の黒帯は白線入りも可とする。
- (8) 決勝、準決勝のオーダーの変更は、コールの後3分以内に提出すること。
- (9) 団体戦決勝の出場校が男女同一校の場合、女子、男子の順に行う。
- (10) (公財)全日本柔道連盟からの「脳振盪の対応について」を遵守すること。

8 競技方法

(1) 団体戦

- ① 全参加チームをA～Dの4組に分け予選リーグ戦を行い、各組の上位2チームをもって決勝トーナメント戦を行う。
- ② リーグ戦のチーム間の勝敗は、次の順により決定する。
 - イ) 勝ち数による。
 - ロ) 勝ち数の同じ時は、内容により決定する。
 - ハ) 内容も同じ時は、引き分けとする。
- ③ リーグ戦の勝ちチームは、次の順により決定する。
 - イ) チーム間における勝ち、引き分け、負けの率による。
 - ロ) イ)において同等の時は、勝ち数の合計による。
(ただし、勝ち数の内容はすべて同等とする。)
 - ハ) ロ)において同等の時は、内容により決定する。
 - ニ) ハ)においても同等の時は、負けの数とその内容により決定する。
 - ホ) ニ)においても同等の時は、代表戦を1回行い、必ず優劣を決する。
- ④ トーナメント戦の勝ちチームは、次の順により決定する。
 - イ) 勝ち数による。
 - ロ) 勝ち数が同じ時は、内容により決定する。
 - ハ) ロ)において同等の時は、代表戦を1回行い必ず優劣を決する。

(2) 個人戦

各階級毎にトーナメント戦を行い、それぞれ優勝を決定する。

9 表彰 団体戦・個人戦とも1位～3位まで表彰する。

10 組合わせは、7月3日(火)に山形県中学校体育連盟柔道専門部会と主管側で責任をもって抽選し決定する。

11 その他

- (1) 東北大会には、男子の部では団体上位4チーム・個人各階級上位4名が出場できる。女子の部では、団体上位2チーム・個人各階級上位2名が出場できる。
- (2) 全国大会には、男女とも団体上位1チーム・個人各階級1名が出場できる。
- (3) コーチを帯同する場合は、大会所定のコーチ確認書を大会事務局に提出する。
- (4) その他、必要事項については監督会議で連絡する。

12 連絡先 〒997-2453

鶴岡市大山字若柳271番地 鶴岡市立鶴岡第五中学校 齋藤利行
TEL 0235-33-2222 FAX 0235-33-2223